

すが更に進んで農山漁村經濟の建直しに關する諸般の恒久對策をも講ずる必要があるのであります。而して右の應急策、恒久策の何れを問はず其の政策樹立に際し農林統計は常に其の基礎資料たるべきものでありまして農林統計の使命は愈々重大になつて來たと謂はねばなりません。

政府に於ても統計の重要性が益々増大して來るのに鑑みまして絶えず統計調査の改善に留意して居るのであります。昨年(昭和八年)には農村に最も緊密なる關係を有する米穀に就きまして其の生産統計調査方法を改正したのであります。昨年の調査は改正當初のものなるにも拘らず非常の困難なる中に於て各位の努力に依りまして概ね良好なる結果を收め得たのであります。更に本調査の完璧を期する様今後一段の御努力を希望する次第であります。

尙一般農林統計調査に關しまして農山漁村の現状と統計の使命とに鑑み

次第であります。

扱て一般經濟界の不況も既に數年に亘り未だ一部工業方面を除いては景氣も充分恢復致さず我農山漁村の將來は頗る憂慮すべきものがあるのであります。本年は此の不況に加へて更に各種の天災に見舞はるゝに至つたのであります。被害地方に對しては尙に同情を禁じ得ないものがあるのであります。

災害の爲困窮に喘ぐ農山漁村に對して應急並に恒久の施設を講ずることの必要なるは申す迄もない事でありまして政府は目下着々之が實現に向つて努力して居る次第であります。斯の様な災害頻出の時に於きましては動もすれば人心に落を缺き従つて統計調査の如き落付て冷靜に行はねばならぬ仕事の遂行に遺憾の點を生ずる虞がないとも限らないのであります。然るに之等災害に對する應急又は恒久の施設を講ずるに當つては統計調査は常に基礎資料として重大なる役目を持つて居るのであります。従つて統計は常に嚴正にして公平でなければならぬのであります。

殊に米と藁は農家の主要収入部門をなし

まして一層の努力を拂はるゝは固より農林統計調査の第一線に立つ統計調査員並市町村統計關係者の活動を促進して地方統計事務の刷新を圖ると共に一般民衆に對しても統計思想を普及することに努められまして農林統計調査の萬全を期せらるゝ様切望する次第であります。

尙本會議の議題となれる各種の事項に對しましては地方統計事務に關する實際上の御經驗と御所信とを披瀝せられて充分に審議を盡されんことを希望致します。

本多統計課長挨拶

本年は例年にならぬ各種の災害が各地方に相次いで起りました。之が實地の救援に將又對策立案に夫々御多忙中にも拘らず各位の御參集を得まして農林統計事務に關し隔愛なき意見の交換を致し充分御協議を致すことの出來ますことは私の深く喜びとする所でありまして共に各位の平素の御精勵御努力に對し此の機會に多大の敬意を表する

ますが故に其の收穫高又は收購高の多少は農家經濟に多大の影響を及ぼすこととなるのであります。農村對策樹立の基準が米藁の調査の結果に置かるゝ場合の多いことは決して偶然ではないのであります。従つて各位は米の生産統計及藁の調査に關しては特に之を慎重に取扱つて戴きたいのであります。今や米に付ましては第二回豫想收穫高調査の時期も數日の後に迫つて居るのであります。此の豫想收穫高調査の結果は早害、風水害、冷害等最近各地に相次いで起れる災害の總決算とも相なるのであります。各方面より注視の的となつて居るのであります。従つて各位は米の第二回豫想收穫高調査に當つては調査員始め市町村當局をして寸毫も私心を挟ましむるがなきことなきは勿論進んで從來に比し一層正確に之を調査せしむることに努められまして米生産統計の社會的信用を益々大ならしむることに此際一段の御配慮を煩はしたいのであります。本月十九日の本職より地方長官に對する本年米第二回豫想收穫高に關する依命通牒も此の趣旨に外ならざる儀に付本機會に於て重ねて各位の御留意を希ふ次第であります。

- 昭和七年福岡縣統計書(第一編) 福岡縣統計課
- 昭和七年福岡縣統計書(第三編) 同
- 統計上から大阪みれば 大阪府
- 昭和八年山形縣統計書 山形縣
- 世界大戰中の佛國工業 資源局
- 昭和九年福岡縣春蠶統計 福岡縣統計課
- 昭和九年福岡縣人口統計 同
- 昭和七八年北海道米麥統計 北海道廳內務部庶務課
- 昭和七年栃木縣統計書(第二編) 栃木縣
- 昭和九年版労働統計要覽 內閣統計局
- 國勢グラフ(十月號) 國勢社
- 文部省第五十七年報 上卷下卷 文部大臣官房文書課
- 兵庫統計(第四十三號) 兵庫縣統計協
- 統計界(第五卷第十號) 岩手縣統計協
- いしすゑ(十二月號) 福岡縣統計協
- 我國人口問題の解決方針 人口問題研究會
- 愛媛縣勢一覽(昭和九年) 愛媛縣統計課
- 昭和七年群馬縣統計摘要 群馬縣
- 第四十六回統計報告 大日本帝國內務省

- 統計上より觀たる山口縣の地位 山口縣統計係
- 統計上より觀たる岐阜縣の地位 岐阜縣
- 資源(第四卷第七號) 資源局
- 統計時報(第四八號) 內閣統計局
- 昭和九年労働統計實地調査報告 同
- 第一卷工場の部 同
- 昭和七年栃木縣統計書(第一編) 栃木縣
- 岐阜縣勢要覽(昭和九年刊行) 岐阜縣
- 第四十五回遞信省月報 遞信省
- 昭和八年蠶糸類及真綿統計表 農林省
- 昭和八年大阪會社統計速報 大阪府
- 昭和七年岩手縣統計書 岩手縣
- 第一一〇號貨銀物價統計月報 農工省
- 昭和八年製糸職工養蠶備貨銀統計表 同
- 大原社會問題研究所雜誌 第一卷第五號 大原社會問題研究所
- 昭和九年群馬縣春蠶統計 群馬縣
- 昭和九年群馬縣麥統計 同
- 石川縣勢一斑(昭和九年版) 石川縣
- 私の地位 大分縣
- 千葉縣の麥統計(昭和九年) 大分縣

す。

現下の社會情勢の下に於て一段と其の重要性を加へて参りました所の農林統計調査の正確と適切とを期する爲に各位の探るべき方策は種々あらうかと思ふのであります。が就中以下指示すべき事項に付ては格別の努力を御願ひしたのであります。

指示事項

- 一、統計思想の普及發達に關する件
- 二、米生産統計の整備に關する件
- 三、被害統計に關する件

注意事項

- 一、報告期限の勵行に關する件
- 二、米、麥及繭統計の報告に關する件
- 三、家畜統計に關する件
- 四、農林被害統計に關する件
- 五、報告様式に關する件
- 六、活動寫眞フィルム貸與期間嚴守に關する件

本省提出協議事件

- 一、地方農林統計事務整備刷新に關する件
- 一、農林統計功勞者表彰に關する件

であります。從て産業上及國防上施設すべき重要問題が輻輳して居る我國現下の情勢に鑑みまして産業統計の整備充實を圖することは最も緊要のことであると見ます。

從來本省に於きましては鋭意商工統計の改善刷新に努力して來たのでありまして嚮に本年三月賃銀統計に根本的改正を加へましたのも一に此の時勢の進展に適應せしめんが爲であります。更に工場統計、商工省統計を初めとし各種商工統計は何れも各位の御協力に依り益々其の内容を整備し來りまして今や公私各方面に亘り廣く利用せられて居りますことは寔に欣快に堪へない次第であります。併し乍ら現在の商工統計は素より之を以て完璧と云ふことは出來ないのであります。特に我國工業上極めて重要な地位を占むる中小工業の經營の實情を明白ならしむる爲には遺憾の點が尠くないのであります。斯の如き遺憾の點を改めて商工統計の

- 一、市町村農林統計票作成に關する件
- 一、農林水産生産總價額調査方法統一に關する件

商工省

商工省に於ける地方統計主任官會議は農林省の同會議に引きつゞき十月廿六、廿七兩日同省會議室に於て開催され本縣よりは川崎統計課長並郡司屬が出席した、同會議に於ける町田商工大臣の訓示並指示、注意、協議事項及縣提出事項は左の通りである。

商工大臣訓示

本日茲に地方統計主任官會議を開催するに當りまして一言所懐を述ぶるの機會を得ましたことは私の最も欣幸とする所であります。

惟ふに産業統計は産業行政の基礎資料たるのみならず民間各種企業經營上の重要な指針となるものであり更に國家總動員計劃設定に關する基本資料

整備を期することは最も緊急の要務と致す所でありまして本會議に於きましては此等の點に關しまして各位の御協力を煩はしたいと考ふるのであります。何卒慎重審議の上適當なる改正方策の樹立に御協力あらんことを希望する次第であります。

最後に此の機會に於きまして特に統計思想の普及に付て各位に一段の御協力を煩はしたいと存するのであります。申す迄もなく統計の整備と云ふことは官民の協力に依て初めて期せらるゝものであります。中央及地方の統計機關が如何に整備致しましても一般民間當業者に於て十分なる理解と誠意ある協力とが無いならば適正迅速なる統計は到底之を作成することは出來ないのであります。從來中央に於ても又地方に於ても統計思想の普及には大いに力を用ゐて來た所でありますが今や我國内外の情勢に鑑み産業統計の重要性が愈々加重せられて來たのであります。か

高知縣移出入貨物(昭和八年)	千葉縣知事官房統計課
昭和九年度市町村稅課率及吏員一覽	高知縣知事官房
廣島縣概況(昭和九年版)	福岡縣統計課
昭和九年長崎縣麥統計	廣島縣
日本都市年鑑	長崎縣
統計上より觀たる岡山縣の地位	東京市政調査會
工業現勢 第三卷第十二號	岡山縣知事官房
昭和八年鳥取縣統計書(第四編)	東京工業大學工業調査部
東京株式取引所統計月報(十一月)	鳥取縣
昭和八年鳥取縣生產額	鳥取縣
昭和九年福岡縣麥菜種統計書	東京株式取引所調査課
昭和九年十一月小賣物價月報	鳥取縣
昭和八年大分縣工場一覽	商工大臣官房統計課
昭和八年栃木縣統計書第四編	大分縣知事官房
職業紹介公報百第三十二號	栃木縣
動力附漁船に關する統(計昭和九年十二月刊行)	中央職業紹介事務所
	農林省水産局

昭和七年專賣局第三五回年報專賣	專賣局
昭和八年高知縣統計書(第二編)	高知縣
昭和八年長崎縣統計書(第四編)	長崎縣
昭和九年版石川縣勢一斑	石川縣知事官房
昭和八年重要物產統計書	群馬縣
昭和九年版臺灣事情	臺灣總督府
昭和九年黃海道々勢一斑	黃海道
昭和八年度郵便貯金郵便局別狀況表	貯金局
人口問題講演集(第二輯)	人口問題研究會
昭和八年千葉縣生產額要覽	千葉縣知事官房統計課
統計パンフレット	千葉縣知事官房
米(昭和九年十一月刊)	神奈川縣統計調查課
昭和八年度事業統計	水戸地方專賣局
昭和九年千葉縣の家禽	千葉縣知事官房統計課
昭和七年岩手縣統計書第一編	岩手縣
統計時報	德島縣統計協會
統計報告	富山縣統計協會
統計	千葉縣統計協會

ら此際尙一層統計思想の普及に努め適正迅速なる統計を作成する様特に御配慮あらんことを切望致して止まない次第であります。

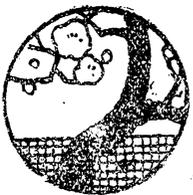
指示事項

- 一、産業統計の整備充實に關する件
注意 事項
 - 二、報告期限の勵行に關する件
 - 三、工場調査票集計發表に關する件
 - 四、會社統計に關する件
 - 五、商工省統計に關する件
 - 六、織物産額調に關する件
 - 七、補助申請書並決算書記載方に關する件
- 協議 事項
- 一、重要作業機械及設備に關する調査改正の件
 - 二、工業經濟狀況調査の件
- 縣提出 事項
- 一、工場調査票様式改正の件

本會へ寄附金

本協會設立の趣旨に共鳴せられ援助の意味を以て寄附金を提供された方が舊臘未迄に總額金六百九拾圓也に達しました、左に芳名を録して感謝の意を表します。

- 茨城無盡株式會社 常陸セメント株式會社
- 株式會社土浦五十銀行 株式會社川崎貯蓄銀行水戸支店
- 株式會社川崎第百銀行水戸支店 株式會社常磐銀行
- 井態製菓株式會社 株式會社茨城農工銀行
- 當磐無盡株式會社 茨城製水株式會社
- 株式會社茨城貯蓄銀行 株式會社三ツ輪銀行
- 茨城電氣株式會社 鹿島參宮鐵道株式會社
- 日清製粉株式會社水戸工場 株式會社石岡銀行
- 下妻無盡株式會社 猿田公益銀行
- 茨城瓦斯株式會社 茨城縣畜産組合聯合會
- 多賀郡南中鄉村調査員瀧長壽殿外九名



統計俳壇

前田 猶 春選

雪

戸をあけて宵の庭木の雪明り 結城 飯沼 徳 太郎
 雪の日のわれひとりゆく山路かな 久慈 賀美 石川 健
 驛を去る汽車の灯うつる深雪かな 鹿島 歌訪 琴 月
 鳥去つて雪振り落す庵木かな 新治 戀瀬 木 堂
 小荷物にいさゝかの雪かゝり來し 北相馬高野 香 郵

東北 飢 鐘

雪風刈らぬまゝなる田なりけり 行方 武田 ゆたか
 鶏追ふて雪の篋くどりけり 猿島 長須 小 舟
 かばかりの雪に傾く葎かな 西茨城西山内 正 二

薪を割る納屋のまひるの雪雫

猶 春

統計俳壇募集

次回 課題 『梅』『冬の月』
 句數 一人十句以内(半紙二つ折にしたゝむ)
 選者 前田猶春先生
 宛名 茨城縣廳内統計協會
 締切 二月二十日



統計川柳

山中 緋 郎選

數に因んで

算盤の最后儲けの珠を入れ 林 令 風
 胸算をして粉煙草うまく喫ひ 名川 邑 人
 家計簿のどうにかやつて行く數字 水谷 要 人
 割勘をあした支拂ふ別れ道 關 歌詩 句
 未知數なものへ努力のひた向きに 田邊 清 幻
 手をとつてやれば盲人年をきゝ 小松原 茶 亭
 慈善鍋一錢投げて氣が軽い 落合 思 月

統計川柳募集

山中 緋郎選

題『米』『統計に關する雜詠』各五句吐

締切 二月二十日

宛名 茨城縣廳内茨城縣統計協會

投稿歓迎

- 一、種類に制限ありません(論説、所感、體驗實記、質疑、文藝、その他)揮つて投稿されたい、佳作には賞品を呈します。
- 一、用紙は成るべく原稿紙とし文字は明瞭に書かれます。
- 一、原稿には住所氏名を明記すること(但し誌上の匿名は支障ありません)
- 一、原稿の取捨採否は編輯部に一任されたい
- 一、三月號は二月二十日迄に送付のこと
- 一、原稿は一切返送しません
- 一、宛名は「茨城縣廳統計課内茨城縣統計協會編輯部宛」のこと

冬枯へ文一つない子の行方
 義理一つ缺いて淋しい子澤山
 又一人日本へ殖へる湯を沸かし
 決死隊暮ればみんな一步出る
 忘れ物一つを乗せて終電車
 一藝を持つて一座の緒口を受け
 はねる迄一つあいてる指定席
 珠算の一つの珠へ利を求め
 一錢の世辭へ儲けをふと思ひ
 大男立てば新婚二人掛け
 劍突を喰つて自轉車二度に置き
 埋火は二度に見てから留守にする
 君が代へ花瓶一杯陽が當り
 履歷書を幾つか出して春を待ち
 夜遊びに馴れて時計を待つてゐず
 押入に七輪がある二階借
 滿洲へ稼ぎに行つてそれつきり
 叩き賣りまだく負ける聲を立て

○

水の面に鶴影二つ和む春

松田 思秋
 野々村 史葉
 榎本 光惠
 平岩 春梅
 中山 假面坊
 中庄 信夫
 内田 靜豊
 峰松 三鏡
 菊池 三春
 山田 高月
 齋藤 正郎
 佐瀬 しける
 山下 靜時
 川久保 秋市
 大關 耕村
 泉 瓢堂
 津邸 瓢二樓
 小島 大口坊

緋郎

會費納入方依頼

昭和九年度本會の分賦金は一市町金參圓宛納入して戴く譯ですが一月十五日現在でまだ未納の向が左記の通りありまして整理上困つて居りますから至急御拂込を御願致します。東茨城郡坪村、全郡大貫町、西茨城郡南山内村、那珂郡菅谷村、全郡國田村、全郡玉川村、久慈郡黒澤村、全郡佐原村、全郡下小川村、新治郡戀瀬村、眞壁郡小栗村

統計調査用紙印刷

統計調査小票及其の他用紙の印刷は本年より本會に於て印刷することになりました。一月十五日各市町村に通知を發しましたから昭和十年度所要數を見越して來る二月五日迄に當會宛御申込願たい但し一種類百枚未満の端數は整理上取扱はさることになつて居りますから御注意下さい。

昭和十年統計報告用紙の送付

印刷の都合に依つて取敢す一月分使用の分のみ送りましたが二月以降報告の分此の程刷成を了しましたから一月二十五日迄には此申込の部數御送付致しますから諒承せられたい。

編輯後記

創刊號だ——殊に新たに生れた統計協會が最初の事業として手を染める雑誌なんだ素晴らしいものを作りあげようと念じつゝ、相當努力もしてみたが、何しろ統計の知識には、まるつきり素人の私である。與へられた一つの材料を、とみかうみ如何様にこれを扱ふべきかに、今日迄随分長い間新聞や雑誌の編輯に經驗をもつ私でありながら會て味つたことのないやうな人知れぬ苦心をこの雑誌に捧げた。

そんなことで、折角努力はしてみたがまことに不手際なものが出来てしまつて、おもはゆい次第である、しかし、川崎統計課長をはじめ、課の皆さん、協會の皆様懇切なる御指導もありますし、一段と努力精進、味はつた苦い經驗を生かしていきたくと考へてゐる。

次ぎは私からのお願ひだが材料は澤山あ

ればあるほど、編輯者には都合がよゝ、のみならずこれをモザイクしていくところに編輯の妙味はあり、雑誌の體裁も整ふわけである。だから別項にも特記してある通り、協會員各位もどしどし寄稿していただきたい、地方の方々の體験記、苦心の實話等もまた最も好ましい。縣下四千の統計調査員諸君！雑誌「茨城統計」は諸君が諸君のために作る、斷然諸君のものであるといふ強い御信念をもつて可愛がつて育て、貰ひたい——(富岡如夢)

茨城統計と
廣告の効果

「茨城統計」は縣下三百八十ヶ町村及び各市町村の統計調査員三千九百名は勿論縣下各種団体、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

□本誌廣告料金は左の通りです

特別(一頁(表紙裏表)) 金貳拾圓
普通(一頁) 金拾五圓
普通(半頁) 金拾圓
普通(四分) 金參圓

□同一廣告を引續き二回以上の時は、一割、五回以上は二割の割引をします

□廣告に寫真挿入又は版木を要するものは其の費用を別に申受けます

□廣告料は前納に願ひます

茨城縣廳
茨城縣統計協會

昭和十年一月十三日印刷
昭和十年一月十五日發行
(隔月) 回十五日發行

水戸市北三ノ丸 一部金拾錢
茨城縣統計協會内

編輯人 川崎 末吉
水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷所 柴 印 刷 所
水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内
發行所 茨城縣統計協會